



東京経済大学

現代法学部



③つの「学び」の特長

「現代」法学部で、
現代社会における
法・政策について
学びを深める

- 1 1年次は法の基礎を学び
2 2年次に興味のあるプログラムに所属

総合法プログラム

公共政策プログラム

ビジネス法プログラム

消費者法プログラム

環境法プログラム

福祉法プログラム

- 2 1年次から4年次まで少人数ゼミで
きめ細やかな指導

- 3 法律専門職・公務員志望者を
多角的にサポート

法プロフェSSIONALプログラム

公務員志望者支援プログラム

考え抜く実学。

東京経済大学

学びの特長 1

興味のあるプログラムでより専門的に学ぶ

なぜ「現代」か？ 現代法学部で何を学ぶ？

現代法学部になぜ「現代」とあるのか、気になりませんか？「現代」という言葉は、しばしば「近代」と比較して使われます。私たちの社会は、近代にできた法制度を基礎としていますが、近代から現代を迎える中で、その際には考えられていなかったさまざまな問題や矛盾が生じてきていて、これまでの原則の修正や新たな法整備が求められています。

現代法学部では、こうした現代的な問題が顕著である「消費」「福祉」「環境」のほか、実社会で重要度が増している「ビジネス」「公共政策」に焦点を当て、現代社会における法や政治・政策の果たすべき役割について考える意欲的な学びを展開しています。

のむら たけし
現代法学部長 野村 武司 教授



「現代」法学部で、法・政策について学びを深める

4年間の少人数授業を通じて、法的知識・思考や教養、国際的視野を着実に身につけ、現代の諸問題を分析し、問題解決能力を養うことでさまざまな領域で社会に貢献できる人材を養成します。

POINT 1 法的思考を身につける

現代社会で解決しなければならない課題について、身近で具体的な事例を考えながら、法的に問題を解決するにはどうしたら良いのかを検討することを通じて、法の知識と法的思考を身につけることを目標としています。



POINT 2 法的手段を確保する

現代に生きる私たちは、問題に直面したとき、しばしば法の問題に行き当たります。問題を解決するために、法的な手段を確保することは大切なことです。解決の道筋とともにその手段を提案することで一人一人の、そして社会全体の幸せを実現できます。



POINT 3 問題を解決する力が将来役に立つ

「現代」法学部で学ぶのは法律の条文だけではありません。「法」という眼鏡を通して、「いかにあるべきか」を考え、具体的に「どのように解決するか」を学びます。そこで得た力は将来必ず役に立ちます。



2年次から始まる

現代の課題に即した

「6つの履修プログラム」

「法的思考力」と「政策を考える力」を身につけ、社会で活用できる応用力を養います。将来、希望する「職業」に即したプログラムを組み合わせることも可能です。

	入門科目	主な科目
総合法プログラム	裁判傍聴演習	憲法、民法、刑法など
公共政策プログラム	公共政策論	現代行政法、地方自治と法など
ビジネス法プログラム	基本ビジネス法Ⅰ・Ⅱ	会社法、競争と法、租税法、商取引と法など
消費者法プログラム	消費者問題と法	基本消費者取引法、商品安全と法、投資サービスと法、消費者信用と法など
環境法プログラム	環境問題と法	環境規制と法、被害救済と法、国際環境法、都市環境論など
福祉法プログラム	福祉問題と法	社会保障と法、福祉調査、児童福祉と法、高齢者福祉と法(制度・政策、サービス)など

講義紹介 総合法プログラム

裁判傍聴演習

受講生各自が夏季休暇期間中に行う裁判傍聴と事前の授業からなる演習科目です。事前の授業では、弁護士及び元裁判官の実務家教員3名により、裁判を支える組織・人材や民事・刑事の裁判手続の流れなど、充実した裁判傍聴のために理解しておくべき基礎知識を付与する講義と、模擬法廷を使った受講生による模擬裁判を実施しており、学生は、十分な基礎知識を身につけた上で裁判傍聴に赴き、多くの気づきを得ています。

模擬法廷

現代法学部の「裁判傍聴演習」が行われます。大学のキャンパス内で法廷をリアルに再現し、裁判のシミュレーションやディベート形式の演習を実施しています。



学びの特長 2

少人数ゼミできめ細やかな指導

現代法学部では、4年間、学年に応じた「ゼミ」があります。教員と学生の距離が近く、互いに信頼し合うことで、それぞれの個性を伸ばします

ゼミ紹介 1

すがの るり

菅野 琉梨

現代法学部現代法学科（4年）

上机美穂ゼミ



身近な法律問題について、習慣的に考える力が鍛えられます

私たちのゼミでは、民法の「不法行為法」について判例研究をもとに学習しています。これまで「食品と法」と「不倫と法」の2つのテーマを掲げて、教室での討論のほかに学外で合宿する現地調査も実施。グループワークで議論を深めて、最終的には学内で行われる研究報告会で成果を発表しました。また、SNS利用にまつわる諸問題などの現代的な課題についても研究を行っています。ゼミでは、学生同士で話し合いをする機会が多いため、自分自身の考えを持って、相手に伝えるために必要な根拠を積極的に探す意欲が大切だと思っています。ゼミでの学びを通じて、私たちに身近な法律とそれに関連する諸問題について、日常的に考える習慣と、自分の考えを相手が納得できるように理論立てて伝える力が身に付いたと感じています。

ゼミ紹介 2

おおつか ひな

大塚 日奈

現代法学部現代法学科（4年）

野村武司ゼミ



「子どもの権利」をテーマに、自治体との協働で学びを深めました

ゼミでは、「子どもにやさしい自治体法政策」をテーマに、「子どもの権利」への理解を深め、自治体と協力してリーフレットの作成や、ワークショップへの参加を主な活動としています。昨年度は中野区と協力し、中野区の職員と子どもたちと一緒に、中野区子どもオンブズマン・子ども相談室の愛称とマスコットキャラクターの選定をするワークショップに参加。子どもたちの意見を尊重するため、ゼミ生一人一人が、子どもたちが意見を出しやすいような雰囲気づくりに力を入れました。この活動を通して、「意見を聴かれる子どもの権利」が重要であることを学び、自治体における子ども参加の取り組みについての研究成果を、現代法学部ゼミ研究報告会で発表しました。学内にとどまらずフィールドワークも多いことが、このゼミの魅力だと思います。

ゼミ紹介 3

あおやま しおん

青山 志穂

現代法学部現代法学科（2024年卒業）

常森裕介ゼミ



社会でも役立つ情報分析力と批判的思考を、ディベートで培いました

常森先生のゼミでは、社会保障と社会福祉に関する制度や法について実践的に学びました。「給食費の一律無償化の是非」や「精神障害者の長期入院問題の解決策」等のテーマを学内の他ゼミの学生と競うディベート大会への参加や、売上金を社会福祉協議会に寄付する福祉バザーの開催、地域の子どもに向けたイベントの運営などから、学生が各自で関心のある活動に主体的に取り組みました。私は、高校生の頃まで人前で話すことに苦手意識を感じていたことと、コロナ禍でも何かに挑戦したいと思い、学内のディベート大会に参加を決めました。ゼミの仲間とディベート大会に向けて準備をする中で、さまざまな情報を理解して分析する力や、批判的・法的なものの見方で物事を考えること、自分の意見を相手に伝える力を身に付けることができました。

ゼミ紹介 4

くぼた みさき

久保田 光咲

現代法学部現代法学科（2024年卒業）

中里浩ゼミ



多様なビジネスに関わる法律を知り、ニュースを身近に感じるようになりました

事業者の競争に関わるルールである、「独占禁止法」をさまざまな事例から学んでいます。題材は、東京五輪談合事件といった話題の事件や幅広い業界・企業、環境、スポーツに関連する事件など多様で、自身の興味がある分野から学ぶことができます。ゼミ活動は、グループや個人での発表のほか、ゼミ研究報告会への参加や勉強会の実施、事件に直接関わった方からお話を伺う機会もあるなど活発です。私自身、多様な業界や企業、ビジネスに関わる法律を知ることができたことで、ニュースを身近に感じるようになり、就職活動や就職後にも生かすことのできる内容を学ぶことができました。また、「フードデリバリー配達員と独占禁止法」をテーマにゼミ研究報告会に参加し、発表を通じて資料の作成や伝え方を工夫するようになり、プレゼンテーション能力の向上にも役立ったと感じています。

ゼミ紹介 5

がまん つむぎ

我満 紬

現代法学部現代法学科（2024年卒業）

野澤淳史ゼミ



法学だけでなく、多角的に物事を考える力が鍛えられました

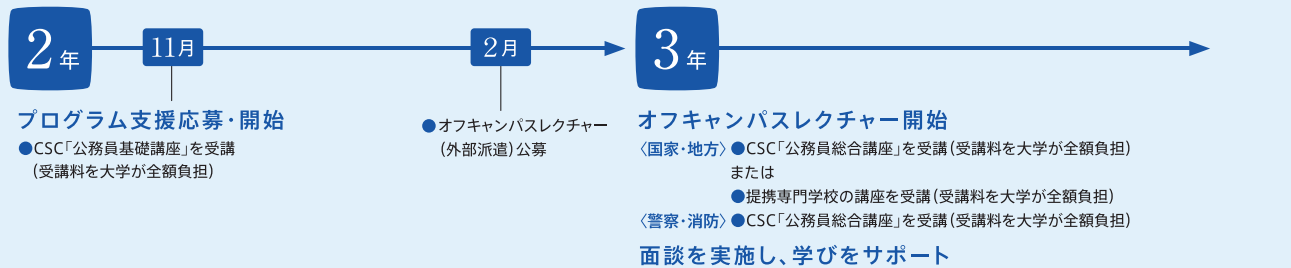
私は高校生の頃から環境問題に関心があり、その中でも公害問題を学ぼうと、水俣病について研究している野澤先生のゼミに所属しました。ゼミでは水俣病をめぐる裁判の判例検討をはじめとして、患者の方が受ける福祉サービスと補助金の問題や、水俣病の原因となったメチル水銀汚染の影響を考える環境学的な議論を重ねたことによって、水俣病を起点として、法学だけでなく社会学や環境学など幅広く学ぶことができました。また、他大学の学生との議論や、現地水俣で患者の方との交流を通して、自身の考え方を見直す機会になりました。1つの問題に対してさまざまな視点から取り組んだ経験によって、多角的に物事を考える力が鍛えられた実感があり、今後に生かしていきたいと思っています。

学びの特長3 選抜制のプログラム

公務員志望者支援プログラム 現代法学部生限定 2年次から所属

公務員を志望する学生を徹底サポート

国家公務員や地方公務員、警察官や消防官をめざす現代法学部生限定のプログラムです。要件を満たした学生が2年次2期から所属し、公務員試験対策を目的としたCSC講座※を授業料全額免除で受講できるほか、個別面談にも対応し、公務員志望者をサポートします。



公務員志望者支援プログラムオフキャンパスレクチャー生(23名) 主要内定先一覧(2023年度実績)

国家公務員…………… 国税専門官 2名／国家一般職 2名／裁判所事務官一般職

地方公務員…………… 特別区 2名／警視庁 2名／東大和市役所 2名／昭島市役所／さいたま市役所／千葉県警察本部／東京消防庁／飯能市役所／藤沢市役所／船橋市消防局／八千代市役所 ほか

※CSC 講座とは、資格取得指導に定評ある専門学校の講師のもと、学内でダブルスクールができる講座です(一部講座では提携専門学校に派遣することもあります)。



INTERVIEW



同じ目標を持つ仲間のおかげで、モチベーションを高く維持できました

内定先 杉並区役所

どのような立場の人も快適に生活できる環境を作ると同時に、多くの人の役に立てる仕事をしたいとの思いから将来は地方公務員として働きたいと考えていました。そのため、公務員志望者支援プログラムに魅力を感じ東経大の現代法学部を選びました。このプログラムでは、CSCの公務員基礎講座と、公務員総合講座の受講料を大学が負担してくれるため、経済的な心配をすることなく勉強に集中することができました。また、CSCの公務員講座では、提携専門学校の講師の方に勉強の相談ができるため、不安等を解消しながら試験対策を進めることができました。そして何より、公務員試験合格という同じ目標を持った友人と励まし合いモチベーションを維持できました。今後は、区民の方々はもちろん、一緒に働く職員の方々にも信頼していただけるように努めていきたいです。

かまた ともか
鎌田 桃花 現代法学部現代法学科(2024年卒業)



INTERVIEW



費用の心配をせず、成果を得られる支援体制が充実しています

内定先 裁判所事務官

高校生の頃から公務員になりたいと考えていて、そのための支援プログラムが充実している東経大の現代法学部に進学しました。入学後は法律の知識を深めたいと思い、法学検定ベーシックを1年次に取得し、2年次から法プロフェッショナルプログラムに所属しました。弁護士として現役で活躍する方が講師として教えてくれる授業があり、実践的な話を聞いたことなどが学びへのモチベーションになりました。3年次には、公務員試験合格に集中しようと公務員志望者支援プログラムに所属を変更しました。学外派遣選考に合格したため、費用免除で学外の専門学校に行くことができました。費用の心配をせずに気持ちに余裕ある状態で試験対策ができたことは、合格につながった理由のひとつです。また2つのプログラムを受講したことで、学びの面でも就職の面でも自分が納得できる成果が得られたと思います。

こだま けんすけ
児玉 賢亮 現代法学部現代法学科(2024年卒業)



法プロフェッショナルプログラム 2年次から所属

法律にかかわる専門人材を育成する

「司法書士」「行政書士」「裁判所事務官」など法にかかわる仕事や法科大学院進学をめざす学生のためのプログラムです。第一線で活躍する弁護士を講師としてプログラム生のみが受講できる授業を実施するほか、提携専門学校への派遣費用を補助します。

POINT 1 全学部生とも「法学検定ベーシック」に合格することで所属可能(2年次から支援開始)

POINT 2 基礎となる「公法」「民事法」「刑事法」については、プログラム生のみが履修できる科目を準備しています

POINT 3 法律専門職、法科大学院進学をめざす学生には、提携専門学校の受講料を全額補助します

POINT 4 一定の資格試験に合格することで卒業単位として認定
指定した資格を3年次までに取得すると1年間の履修制限単位数を超えて単位が認められるため、4年次は資格試験対策に集中しやすくなります。

POINT 5 法律の専門家に必要な幅広い教養も習得
東京司法書士会と協力して各司法書士事務所で研修し、法の現場を体験する「インターンシップ」など、プログラム外の授業も多く受講することで、社会の成り立ちや人間の心理などもバランスよく学べます。

POINT 6 プログラム生のみが履修できる科目*の講師は弁護士会の協力を得て第一線で活躍する弁護士が担当します ※卒業単位として認定

POINT 7 定期的な面談を実施し、学習状況をチェック

INTERVIEW

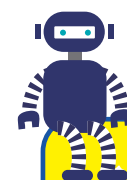


教科書や参考書を読むだけでは分からない、生きた法律を学べます

1年次に受講したCSCの法学検定ベーシック講座や学部の法学基礎科目を通じて、法律を学ぶことの楽しさに気づき、より深く法律について学んでみたい、学んだ法律を生かした資格を取得してみたいと考え、法プロフェッショナルプログラムに所属しました。

法プロの講座では、現役で弁護士として活躍されている先生方の授業を受講しています。現場の「生の声」を交えながらの授業は、教科書やレジュメを読むだけではわからない生きた法律を学ぶことのできる貴重な経験になっています。現在は法プロや法学検定等で学んだ知識を生かして、受講料を大学に全額負担してもらいながら、行政書士の資格取得をめざして提携専門学校に通っています。友人とともに同じ目標をめざすことのできる環境はモチベーションを保つ上でもとても良い環境であると感じています。

こばやし しゅんた
小林 駿太 現代法学部現代法学科(3年)



学生が語る

法プロの魅力とは？

法プロ紹介動画



詳細はこちらから

現代法学部の就職力

望む未来を

着実に叶える

Q 地方公務員をめざした理由

A 私が地方公務員をめざした理由は、小さい頃に住んでいた自治体のイベントにお世話になったので、自分自身の経験を次世代の子どもたちに還元したいと思ったからです。

Q 公務員試験合格に役立ったもの(ゼミや現代法学部での学び、キャリアセンターなど)

A 現代法学部の学びで法律に触れていたため、筆記試験の法律科目に対して苦手意識なく取り組みえた点が役立ちました。
また、ゼミ活動に積極的に参加したことと相手を納得させるための論理的な説得力を身につけたことが、面接試験で、自信をもって話すことや面接官に納得してもらうことに繋がったと思います。

Q 大学の支援制度で活用したものはありますか？

A 私は公務員志望者支援プログラムに所属していました。プログラムでは、先輩方から公務員試験での経験を聞くことができ、試験への準備や対策をすることができました。
加えて、プログラムに所属している学生は、公務員講座の受講料が免除される利点もあります。また、プログラムに所属するための条件として受講しなくてはならない講義があり、その中に

早い時期から業界や職業について知識を深め、将来どのようなキャリアをめざすのかを体系的に学び、学生たちのキャリア意識を醸成する多彩なキャリア科目を用意しています。キャリアセンターと連携し、さまざまなバックアップ体制で社会に羽ばたく学生たちを応援します。

含まれていた国際法の講義を受講したことで、国際法を研究するゼミに所属するきっかけとなりました。

Q 大学時代を振り返って、現在の仕事につながるものや役立っているもの(ゼミでの学びや身についた力など)

A 大学時代を振り返って、仕事に役立っていることは、2つあります。

1 つ目は、現代法学部に所属していたことそのものです。私は、窓口の係で戸籍の届出を担当しているので、民法などの講義で学んだ法律の知識が直接的に役立っています。

2 つ目は、ゼミに所属していたことです。私は国際法のゼミに所属していました。ゼミでは、難しい判決文を読解したり、ゼミ内で模擬裁判を行ったりしました。難しい内容を理解したり、事柄の説明や自分の考えを人に納得してもらうように話した経験が、窓口で区民の方へ説明をする際に、話を理解してもらったり、納得してもらうために役立っていると思います。

Q 将来の目標や抱負など

A 人の役に立つことがしたいと思い公務員をめざしたので、窓口での手続きをより満足してもらえるように知識や説明する力に磨きをかけていきたいです。



えだむら ゆうぎ
枝村 悠義 [若狭彰室ゼミ]
現代法学部現代法学科 (2023 年卒業)

勤務先 港区役所

現代法学部卒業生主要就職先(過去3年間)

建設業：積水ハウス、大成建設、戸田建設

製造業：キリンホールディングス、久光製薬、コロナ、オカムラ、シチズン時計、東芝テック

情報・通信・放送・広告制作：エフサステクノロジーズ(旧：富士通エフサス)、富士ソフト、信組情報サービス、S O M P O システムズ、一般社団法人しんきん共同センター

運輸・郵便業：東京臨海高速鉄道、日本郵便

卸売業：日本アクセス、伊藤忠メタルズ、J F E 商事鋼管管材、シャープマーケティングジャパン

金融・保険業：静岡銀行、常陽銀行、足利銀行、群馬銀行、武蔵野銀行、大和証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、城北信用金庫、巣鴨信用金庫、西武信用金庫、多摩信用金庫、東京信用保証協会、第一生命保険、日本生命保険、明治安田生命保険相互会社

サービス業：JTB、西武・プリンスホテルズワールドワイド、富士屋ホテル、東京経済大学、日本年金機構、全国農業協同組合連合会、東京中央農業協同組合、富士吉田商工会議所、ANA エアポートサービス



国家公務員：厚生労働省、内閣府、防衛庁、出入国在留管理庁、関東信越国税局、東京国税局、農林水産省関東農政局、東京高等裁判所

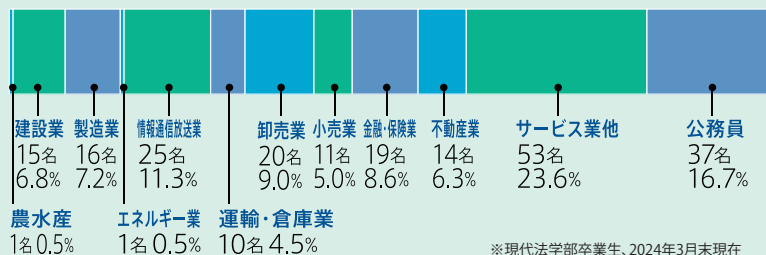
地方公務員(都道府県)：群馬県庁、埼玉県庁

地方公務員(特別区)：足立区役所、板橋区役所、葛飾区役所、杉並区役所、世田谷区役所、豊島区役所、北区役所、中野区役所、港区役所

地方公務員(市町村)：潮来市役所、入間市役所、浦安市役所、上田市役所、勝浦市役所、川口市役所、川越市役所、久喜市役所、行田市役所、国分寺市役所、さいたま市役所、坂戸市役所、狭山市役所、玉川村役場、秩父市役所、調布市役所、千代田町役場、所沢市役所、長瀬町役場、長野市役所、行方市役所、西東京市役所、八王子市役所、埴町役場、飯能市役所、東久留米市役所、東大和市役所、藤沢市役所、武蔵野市役所、瑞穂町役場、八千代市役所

地方公務員(警察・消防)：愛知県警察本部、茨城県警察本部、岩手県警察本部、大阪府警察本部、神奈川県警察本部、警視庁、埼玉県警察本部、埼玉県央広域消防本部、東京消防庁、戸田市消防本部、新潟県警察本部、船橋市消防局、長野県警察本部、福島県警察本部、富士山南東消防組合

業種別就職状況 (2023年度)



※現代法学部卒業生、2024年3月末現在

東京経済大学

- JR中央線、西武国分寺線・多摩湖線「国分寺」駅南口より徒歩12分
- 京王線「府中」駅下車、京王バス「国分寺駅南口」行き終点より徒歩12分

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

入試課 [TEL] 042-328-7747(直通)